

富士見町議会は、9月定例会にあわせて議員勉強会を開きました。長野県諏訪地方事務所の浅井秋彦所長を講師に招き、「長野県から見た富士見町について」の演題で話を聴きました。

浅井所長は、富士見町の観光パンフレットを取り上げ、「自然の宝庫、高原リゾート、自然景観、咲きそろう花々」というキャッチコピーが載っているが、長野県全体が山岳高原であり、それを売りにしているため、県内の他地域との差別化が難しい」と指摘。発信が県内よりも、都会向けが多いため、「県内における富士見町のイメージはそれほど大きなものにはなっていない」と率直な感想を述べました。

町の財政については、財政力指数や税金などの県内順位を示し、「優良な数字が出ている」と評価。地方債残高は県内77市町村中58位と少なく、財政



勉強会で講演する諏訪地方事務所の浅井秋彦所長
(町議会全員協議会室)

移住促進対策、一番は仕事があること 諏訪地方事務所の浅井所長を講師に議員勉強会

調整基金などの基金残高の比率は県内市町村平均を大きく上回り、町税徴収率は98.7%で県内10位と高いことなどを挙げ、「町の財政はおおむね良好。ただ、開発公社に対する町の貸付金残高は、今後も注視していく必要がある」との見解を示しました。

農業者の育成強化では、「近隣の自治体も注目しており、農業後継者の発掘を富士見町にならって動き出している」と評価した上で、「耕作可能地の21%が遊休農地となっている。町の中にもともとある資源(農地)を最大限に使い、新しい価値を生んでいく取り組みを、県としてもできる限り支援したい」と語りました。

テレワークタウン構想に関連する移住促進対策については、「日本全体が人口減少する中、各地方が移住促進のPR合戦をしているが、PRだけではなかなか来ない」とし、「ここへ来たら暮らしていける、そんな環境が整わないと移住に結び付かない。若い人にとっては、一番は仕事があるかどうかだと思ふ」との考えを示しました。観光では「県内で首都圏に一番近く、晴天率が高いことなどの優位性を生かし、先進的な取り組みをしている」と評価しました。
(川合弘人)

第2回町議会オープンミーティングのお知らせ

富士見町議会は、「第2回町議会オープンミーティング」を開きます。奮ってご参加ください。

■日時 4月23日(日) 午後7時から約2時間の予定
■場所 コミュニティ・プラザ2階の大会議室、研修室
■テーマ ▼農業 ▼商工業 ▼教育・子育て

議会全員協議会の議題報告【10月~12月】

◆10月20日

- ①事業進捗状況の報告
- ②富士見パノラマリゾートの経営状況の報告
- ③「夢の森」公園(仮称)基本設計プロポーザルの結果説明
- ④デマンド交通「すずらん号」運行の変更内容に関する説明
- ⑤水稲いもち病の共同駆除に関する報告
- ⑥農業基盤整備促進事業の概況説明

◆10月31日

- ①住民懇談会の状況と地方創生推進事業の報告
- ②臨時議会招集と予定議案概要の説明

◆11月18日

- ①事業進捗状況の報告

- ②富士見パノラマリゾートの経営状況の報告

- ③指定管理者の指定(2件)に関する説明

- ④諏訪東京理科大学の公立化に関する説明

- ⑤「農業経営基盤の強化促進に関する基本構想」の変更概要の説明

- ⑥12月議会定例会提出議案の概要説明

◆12月13日

- ①事業進捗状況の報告

- ②野生動植物被害モニタリング高度化事業の説明

- ③地方創生拠点整備交付金による整備対象施設の説明

- ④平成28年度富士見町重大ニュースの報告

閉会中の議員派遣【12月13日現在の予定】

◆1月17日

第2回町村議会改革シンポジウムin長野(松本市)派遣は全議員。議会改革を目指す県内の町村議会が参集し、情報交換と意見発表。

◆1月31日

町村議会広報研修会(安曇野市)派遣は広報編集委員会4議員。中南信の町村議会広報実務担当者(議員と事務局職員)を対象とした講義と、議会広報誌のクリニック。